

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関わる支援

1. 修学支援

学生の修学支援については、大学教育研究センターおよび短期大学部教育研究センターが、学務部と連携をとりながら対応しています。また、各学部・学科、教職課程などの教学組織においても緊密な連携のもと学生の指導を行っています。

(1) 入学時オリエンテーション

入学後に、各学部・学科毎に履修オリエンテーションを実施しています。

各学科の教員と職員が連携をとり、『履修要項』『講義概要』『授業時間割』をもとに、卒業までの計画ができるようにしています。

(2) 担任制・アカデミックアドバイザー制

入学年次から卒業年次にいたるまで、全学部学科において担任又はアカデミックアドバイザーが定められており、学生は学習に関すること、学生生活に関すること、進路に関することなどについて相談できる体制となっています。

(3) オフィスアワー

教員が授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じる時間としてオフィスアワーを設定しています。所属学科の教員や担任又はアカデミックアドバイザーだけでなく、他学科の教員にも、個人又はグループで相談することができます。

各学部・課程専任教員のオフィスアワーの時間・場所については、掲示にてお知らせしています。非常勤講師については、原則として授業前後の時間に教室や講師室で質問・相談を受け付けます。

(4) 修学・就職支援フェア

学生の修学状況・就職状況を保護者に直接伝える場として「修学・就職支援フェア」を開催し、保護者の方向けの修学・就職に関する講演と、学科教員による修学個別相談を実施しています。

2. 進路選択支援

教育課程内においては、大学教育研究センター及び短期大学部教育研究センターが、教育課程外においてはキャリアセンターが中心となり就職や進学など卒業後の進路についての支援を行っています。

(1) 教育課程内の取組について

本学では、在学期間を通じて、社会的・職業的自立に向けて学生が意識できるよう、平成21年度より実践スタンダード科目として「実践入門セミナー」「実践キャリアプランニング」をはじめとする授業科目を開設しています。

① 実践入門セミナー

1年次必修の「実践入門セミナー」は、20～30人の少人数制で「大学とはどのようなところか?」といった初歩的な内容からレポートの読み方・書き方、図書館での資料検索方法まで、高校とは違う目線での知識の修得・学修方法を学びます。キャリア教育については「自分の将来に向き合おう」「仕事ってなんだろう」といったテーマを設定し、将来に向け、大学で勉強するための目的を明確化し、自覚させています。

また、学園創立者である下田歌子先生に触れる講座を設け、大学の教育理念である「品格高雅」「自立自営」、女性の生き方について学びます。

② 実践キャリアプランニング

「実践キャリアプランニング」は、1年次必修科目の「実践入門セミナー」で学んだ内容をふまえ、大学2年次、短期大学部1年次の前期に開設しています。OGによる講演や、プレゼンテーションを通し、社会人基礎力および自身のキャリア観の醸成を目指します。

③ キャリア教育科目

共通教育科目には、実践アドバンスト科目として、大学は「キャリアデザイン」「グローバル・キャリアデザイン」「インターンシップ演習」「インターンシップ」「キャリア開発実践論」「キャリア実践演習」「国際理解とキャリア形成」「伝統文化の理解と実践」「女性と職業」を、短期大学部は「キャリアプロジェクト」「女性と職業」を開設しています。これらの科目は、どのように進路選択し将来に備えていくか、社会に対応できるマナーや教養を身に付け、働くことを社会、経済、雇用環境の観点から理解し、自らの働き方を考える力を学ぶことを目的としています。

④ インターンシップ

大学の共通教育科目には「インターンシップ演習」「インターンシップ」を置き、インターンシップへの参加を勧めています。インターンシップでは、企業での就業体験を通じて、大学で身につけた知識や技術を社会で活かし、自己を高め、社会の状況を理解することを目指しています。

(2) 教育課程外の取組について

教育課程外の指導は、キャリアセンターが中心になって行っています。キャリアセンターでは、正課の授業科目の内容と連携をとりながら、キャリア・就職支援プログラムを実施しています。

① 進路・就職支援プログラム

大学1～3年次、短期大学部全学年を対象に、SPI模擬試験ならびに解説講座を実施しています。また、学生に実社会を見聞させることを目的として、夏期休暇中に「一日企業見学会」を実施しています。工場、物流センター、オフィスなど、通常目にするのでできない企業の様々な部署をキャリアセンター職員も同行の上、訪問しています。この見学会では、卒業生や女性社員の話を伺う機会もあり、学生は自らのキャリアを考える良い機会となっています。

大学3年次（短期大学部1年次）前期から筆記試験対策や、マナー指導などを行い、後期からは自己分析、業界・企業研究、書類作成、面接対策など就職活動を意識した具体的な対策を行っています。また、就職だけでなく、進学を希望する学生に対する支援も行っています。

さらに、キャリアセンターでは、外部就職キャリアアドバイザーや、キャリアセンターのスタッフによる個別相談にも力を入れています。

② 『マナーの実践』

キャリアセンターでは、「品格高雅にして自立自営しうる女性」を目指した教育を行うサブテキストとして、平成21年度より『マナーの実践』を作成し、入学年次生に配付しています。『マナーの実践』は、「基礎編」（身だしなみ、表情、立ち居振る舞い、挨拶、言葉遣い）、「応用編」（状況に応じたマナー）から編纂されています。

平成25年度からは新たに『社会人編』を作成し、4月から社会人となる卒業生に配付しています。「社会人編」では、ビジネスマナーや社会人としての心構えについて記載しています。

3. 心身の健康支援

(1) 学生相談センター

学生相談センターは、「学業・進路・生活・健康上の諸問題」「心理的、精神的等メンタルヘルスに関する諸問題」等についての相談を受けています。日野キャンパス・渋谷キャンパスそれぞれに学生相談センターが設置されており、カウンセラー、教員相談員、保健師相談員が相談を受けています。

(2) 保健室

保健室は、日野キャンパス・渋谷キャンパスにそれぞれあります。有意義な学生生活を送るには心身両面の健康が大切であり、保健室では以下のような業務を通して、学生の健康面からサポートを行っています。

① 健康診断

毎年4月上旬に全学生を対象に、定期健康診断を実施しています。健康診断の結果、必要な場合には、再検査や保健指導、学校医面談などを行っています。また、就職活動や学外実習、奨学金申請などに必要な「健康診断証明書」を発行しています。

② 健康相談

心身の健康に関して不安や悩みのある学生の健康相談に応じています。また、必要に応じて、学校医による相談や専門医への紹介、学生相談センターなどへの橋渡しも行っています。

③ 健康管理

各種計測（身長・体重・体脂肪・血圧・視力など）、アルコールパッチテストによる体質判定を随時行っています。また、健康に関する情報提供や啓発を行っており、婦人科リーフレットや簡単料理レシピ集などの健康冊子も用意しています。

④ 応急処置

急病やケガの初期対応・応急処置を行っています。体調不良時には、一時的にベッドで休養することができます。また、症状により、専門医の診察や治療を必要とする場合は、キャンパス周辺の医療機関を案内しています。